

健康経営への取り組み

基本的な考え方

「働く人の安全と健康の確保は、企業としての基盤である」との考えのもと、健康経営を推進し、社員が長期にわたって活躍できる環境を整備します。

東邦ガスグループ「安全・健康宣言」

東邦ガスグループは、持続可能な社会に貢献するため、エネルギー事業者としての進化、くらしやビジネス分野での多様な価値の創造、社会課題解決の推進に取り組んでいます。

これらの取り組みを支えるのは「人」であり、「働く人の安全と健康」の確保は、企業としての基盤であると考えています。労働災害、交通災害および疾病の防止を図り、従業員の安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成に取り組んでいきます。

健康経営推進体制

社長を委員長とする中央安全衛生委員会を年に2回開催し、全社的な健康経営の推進を図っています。委員会では健康経営推進計画・施策の審議、指標分析結果および施策の実施結果の報告を行っており、内容についてはその後取締役会および経営会議で報告されます。また、全職場に配置された安全衛生推進者を通じて社員から意見を吸い上げて健康施策に反映しているほか、健康保険組合、労働組合と連携し、共同で施策を実施するなど積極的に健康経営に取り組んでいます。

取り組み内容

「健康経営」に取り組むことで、“従業員が健康で長期にわたって活躍できる会社の実現”、“従業員のパフォーマンスおよび生産性の向上を通じた企業価値の向上”を目指します。

アブセンティーズム、プレゼンティーズム、ワークエンゲージメント*を指標に、後述の各施策に取り組みます。

※(株)リンクアンドモチベーションによるエンゲージメント調査結果:BB(2023年)



健康経営戦略マップ

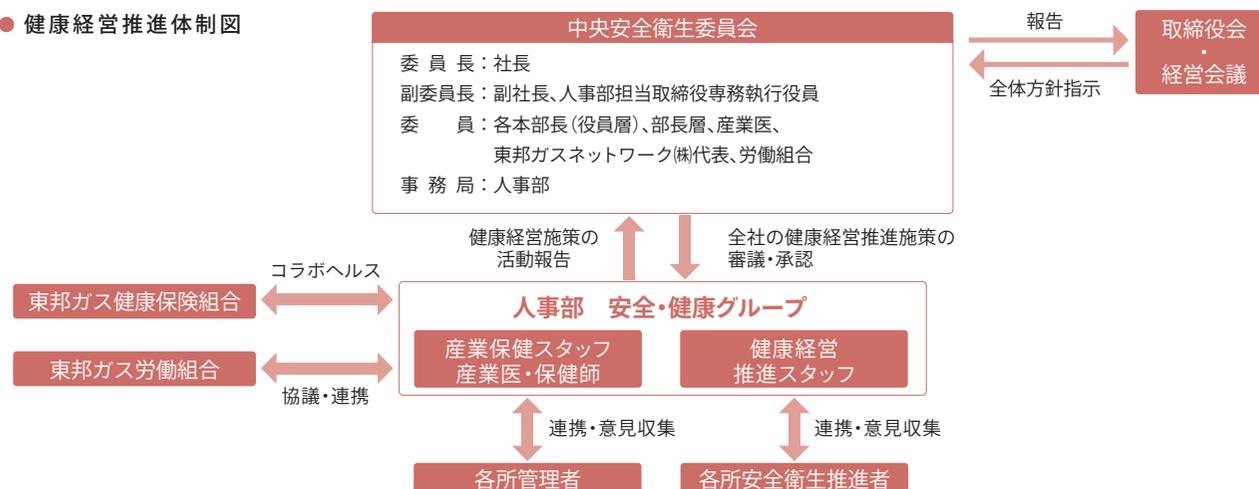
https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/social/pdf/2023social_health_map.pdf



サステナビリティファクトブック2024

<https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/eco-10/>

● 健康経営推進体制図



メンタルヘルス対策

一次予防として、新入社員・中堅社員・管理者に対して階層別のメンタルヘルス教育を実施しているほか、ストレスチェックの集団分析結果を踏まえた職場環境改善の支援活動を毎年実施しています。また、健康診断時に必要に応じて保健師による心の健康相談を実施しています。2023年度は労働組合と共同で睡眠セミナーを開催し、足裏マッサージなどの実践も行いました。



健康経営への取り組み

生活習慣病対策

健康保険組合と連携し、ウォーキングラリー実施などの運動促進や高血圧・糖尿病の重症化予防として保健師による相談・受診勧奨を実施しています。また、若年時からの生活習慣病予防として、若年社員に向けて飲酒・喫煙・肥満に関する教育も行っています。

受動喫煙対策

2012年に屋内喫煙室の整備、統廃合による分煙対策が完了。2024年4月から「就業時間内禁煙」を開始しました。また、社内診療所における禁煙外来やオンライン禁煙外来などを実施し、禁煙を希望する社員を支援しています。

「健康経営優良法人2024」に認定

経済産業省および日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に5年連続で認定されています。(内、2020年～2023年の4年連続「健康経営ホワイト500取得」)

